

ICT基盤開発を迅速に、自由に。

CloudShellは、オンプレミスおよびクラウドリソースをインフラ環境としてWebから遠隔操作できる構成管理プラットフォームです。

リソースを構成するインフラ環境をブループリントとして可視化・管理・保存。さらにオンデマンドでの構築・利用が可能となり、インフラ開発者へ個々に占有できる開発環境を迅速に提供するとともに、リソースの利用効率最適化を実現します。

ハイブリッド・インフラストラクチャの自動化で ビジネスの成果を向上

CloudShellは、複雑なオンプレミス、ハイブリッドおよびクラウド環境に、大規模な“インフラストラクチャ・オートメーション”をローコードで提供するプラットフォームです。

動的環境のセットアップ/ティアダウンを高速化するセルフサービスプロビジョニングが、様々なテクノロジーの開発・テスト・本番環境への認証を合理化しつつ、組織のガバナンスを強化します。



CloudShellのベネフィット



基盤開発のスピードアップと生産性向上

開発環境の物理的制約を取り払うオンデマンドでのリソース制御。自動化とオーケストレーション機能を備え、開発者個々に占有できる開発環境を提供。ICT基盤開発におけるテストプロセスを劇的に合理化します。



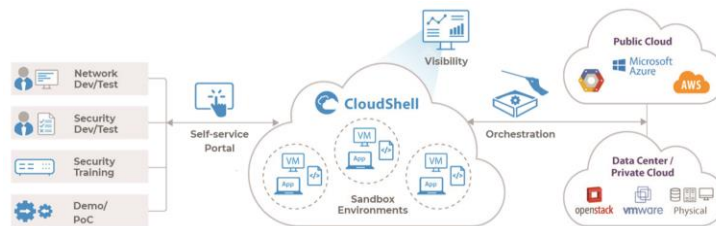
投資コストの最適化

物理・仮想設備の利用状況を可視化。共有リソースが占有される要因を排除し、設備使用率を改善、投資効果を最大化します。



ガバナンス強化によるビジネスリスクの低減

単一Webポータル画面から一括管理。設備使用を標準化し、基盤開発プロセスのガバナンスを強化。

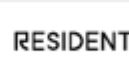


スケーラブルな “インフラストラクチャ・オートメーション”

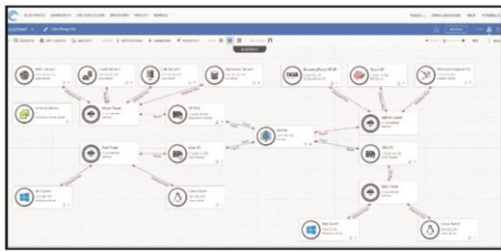
組織を横断する “Environments as a Service”。

開発/テスト、販売デモ、トレーニング、またサポートへ求められる複雑なインフラ・アプリケーション構成を、ワンクリックで複製。「開発/テスト、及びラボ設備にかかるコストを61%削減」「販売サイクルを21%加速」「トレーニング/テスト環境を1分未満で起動」といった成果をローコードで提供します。

世界500社を超えるイノベーターからの信頼

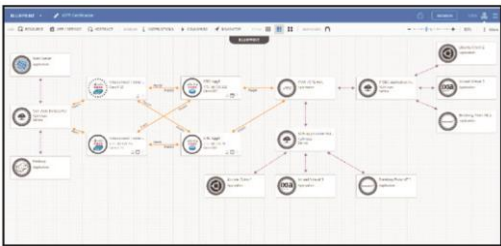


CloudShellの機能と優位性



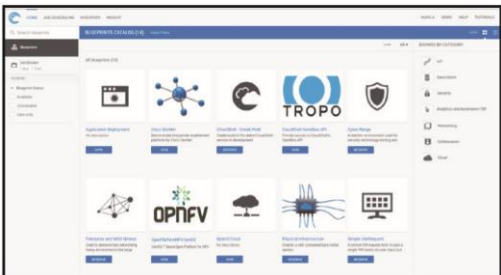
インフラとアプリケーションのモデル化

複雑なインフラとアプリケーション構成をモデル化。ユーザはリソースをドラッグ&ドロップし、物理/仮想インフラ、ネットワーク接続、アプリケーション、クラウドインターフェースを組み合わせます。



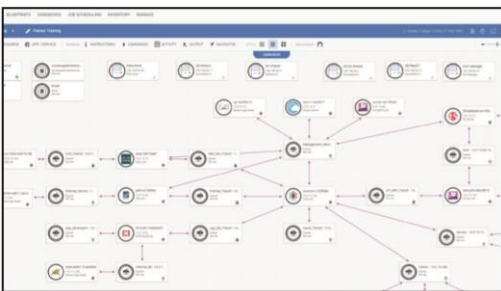
オーケストレーション・ワークフロー

セットアップとティアダウンの自動化を簡単に実装。また、拡張可能なPythonライブラリを使用し、サンドボックス内で強力なオーケストレーション・ワークフローを作成。環境を簡単に保存・復元。



セルフサービス・デプロイ

共有されたセルフサービス・カタログヘルププリントを公開し、どこからでも、すべてのチームがオンデマンドでアクセス。サンドボックスへワンクリックで展開。



企業グレードのソリューション

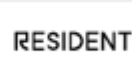
きめ細やかに権限付与されたアクセスとポリシー適用。コストとセキュリティをコントロールしながら、スマート・マルチテナンシーで数千のユーザをサポート。また、SLAサポートではティア1のサービスを受けることができます。



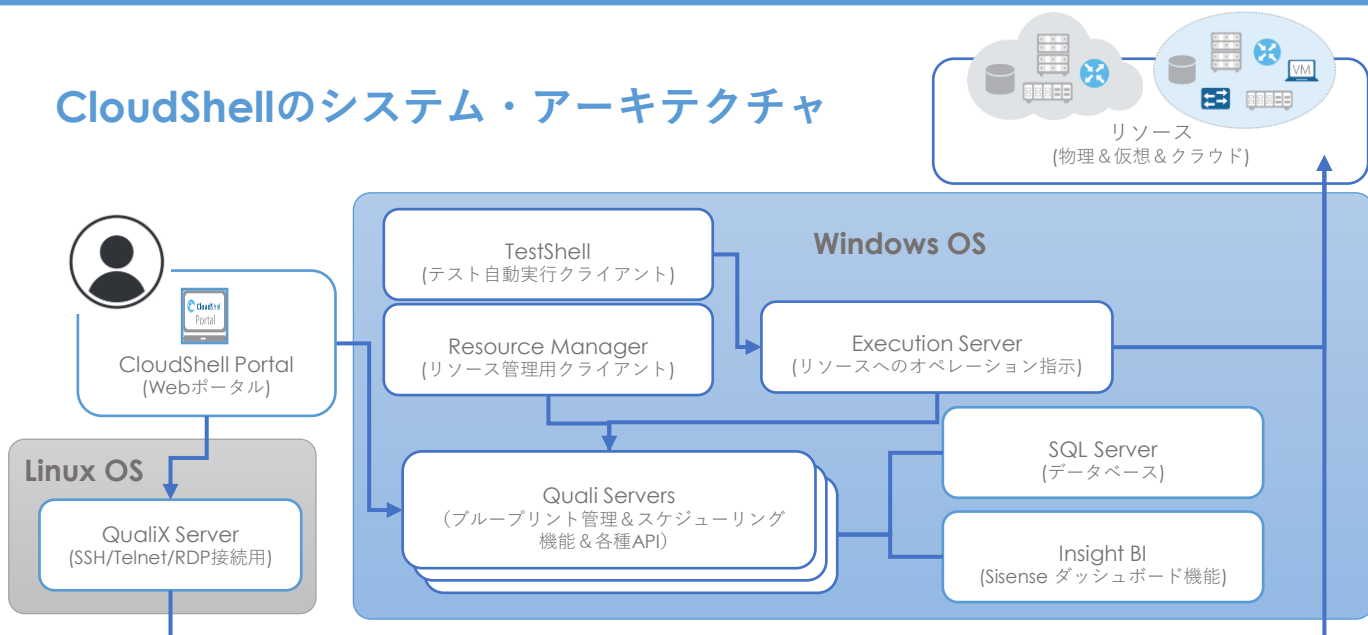
ビジネス・インサイト

クラウドとインフラの利用に関するレポートは、包括的なビジネスへの分析とアイデアを提供。コストを賢く割り当て、削減・最適化へ寄与します。

世界500社を超えるイノベーターからの信頼



CloudShellのシステム・アーキテクチャ



CloudShellによる課題解決

開発/インフラ担当者の課題	CloudShellによる解決
<ul style="list-style-type: none"> ・ オンプレミス、パブリッククラウドの環境が混在。 ・ 担当者に横断的なスキルが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンプレミス、パブリッククラウドが混在する環境を単一のWebポータル画面からコントロール。 ・ 環境の設計や構築を、GUI操作で直感的に実施。 ・ 環境へ組み込まれるリソースの設定変更等を、Webポータル画面から実施。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信装置やシステム/アプリケーションの開発においては、開発環境の構築とリリースをくり返す。 ・ 納期短縮化が求められる中、テスト工程で都度発生する開発環境の準備がボトルネックに。 ・ 二度手間三度手間の工数が発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構築後に修正された開発環境を保存・復元。 ・ 構築された環境で実施されるテストシナリオをGUIから作成。作成されたシナリオへスケジュールを付与し、準備～実施～レポートまでをパッケージ化/自動化。
<ul style="list-style-type: none"> ・ オンプレミスの環境ではリソースの取り合いが発生。 ・ プロジェクト期間中、機器が占有され、リソースの稼働率が低下。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境構築とリリースを時間予約。自動構築&自動リリース。
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウド環境では、制御しきれないクラウド拡大やシャドーIT等の問題が発生。 ・ コストやセキュリティのコントロールに課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プライベート/パブリッククラウドのリソース使用状況をユーザごとに可視化。

インフラ制御・管理のプロセス	従来のアプローチ	CloudShell 導入後
環境設計	数時間 - Visio, PowerPoint, Excel, etc	数分 - リストからドラッグ&ドロップ。
構築依頼	数時間 - 専用のインフラをリクエスト。	数分 - オンデマンドの機器予約。
構築	数日～数ヶ月 - ラッキング、設定、検査、承認。	数分 - 設定とプロビジョニングの簡素化、保存と復元。
リソースへのアクセス	ばらばら - Telnet, SSH, RDP, API, etc	一元的 - 単一のWebポータル画面からアクセス。
管理	煩雑 - シングルユーザアクセス、競合、占有。	柔軟 - マルチテナント&スケーラブル。複数ラボの統合。ドメインによる管理。

世界500社を超えるイノベーターからの信頼

